

第3学年 国語科学習指導案

令和5年7月13日

3年2組 23名

指導者 矢野 由紀子

1 単元名 松茂のすてき見つけ隊！

～ときめきポスターでハートをキャッチ編～

2 単元設定の理由

本学級の子供には、様々な学習の場で、自分の思いや考えを積極的に伝えようとする者が多い。朝の会のスピーチに対して、思ったことやもっと知りたいことを時間の許す限り伝えたり、体験活動で感じたことや考えたことを、お礼の手紙や日記で意欲的に伝えようとしたりする姿にそれを見ることが出来る。一方で、自分の伝えたいことが相手にうまく伝わるように言葉を選んだり、文章に表現したりすることに課題を感じる。例えば、驚きの感想を伝えるのに、「すごい」、「やばい」、「最高」などの安易な表現を多用したり、様々な出来事や物事に対して、自分がなぜそう考えたのか理由を尋ねると言葉に詰まったり、「なんとなく」といった漠然とした表現ですませたりする子供が多いことがそれに該当する。中学年になり、学習活動や学校行事において、自分の経験について感想を話し合ったり、文章に表現したりする機会が多くなっていく。そうした機会において、自分の思いや考えにぴったり合う言葉を選ぶ力や的確に表現するために努力する力を身に付けさせることは、子供の言語活動をより楽しく充実させ、今後の人生をも豊かにすると考え、本単元を設定した。

4月に行った『きつつきの商売』の学習では、自分の想像を広げて「3の場面」を作り、友達と紹介し合う活動に取り組んだ。各々が自分の想像した「3の場面」を意欲的に作り、紹介し合うことはできたが、伝えたいことが明確に伝わるように言葉を選ぶことについては課題を感じた。また、5月初旬に行った『春のくらし』の学習では、自分の感じる春らしさについて文章を作ることはできたが、自分が感じるその季節らしい言葉や表現を選びすぎる、ということについては十分な時間をとることができなかった。そこで、本単元では、自分の思いにぴったり合った言葉を吟味する活動に重点を置き展開したい。

本単元は、松茂町のよさを多くの人に伝えるためポスターにまとめ、今秋マツシゲートで行われる『マツシゲート学園祭』で展示することを主たる言語活動とする。ポスターは、紙面が限られている上、多数の人が目にするものであるため、自分がときめいた松茂町のよさについて、的確な言葉を選び簡潔に書く必要がある。特にキャッチコピーを作る活動は、自分の思いにぴったり合う言葉を選びすぐって短く表現しなければならない。言葉による見方・考え方を働かせ、ものと言葉や言葉と言葉の関係をとらえ、言葉を吟味していくかけがえのない場となる。なにより、自分のときめきを伝える言葉を練る過程が、自分が生きている土地に対する思いを見つめ、深めながら、今よりもっとふるさと松茂を好きになり、大切な存在だと感じる機会となってほしいと願っている。

本単元は、東西南北各コースの町探検（社会科）や、「松茂の特産物調べ」、「採蜜体験」、「はちみつ石鹸づくり」（総合的な学習の時間）等と並行して行う「松茂のすてき見つけ隊」をテーマとするクロスカリキュラムにより実施する。ポスターについては、国語科で作成した下書きをもとに、総合的な学習の時間に、MetaMoji やデザインツール Canva を使って完成させる。MetaMoji や Canva を用いて作成して

いくことで、繰り返し自分の文章を見つめ直し、自然な形で文章をよりよいものに推敲する場としたい。また、自分の体験や思いをもとに選んだ写真についての記事やキャッチコピーを作成すること、『マツシゲート学園祭』で多くの人に作成したポスターを実際に見てもらふことは、考えの形成や自律的な学びにもつながっていくものと考えられる。

第1次では、教科書教材「ポスターを読もう」を用い、ポスターが伝えたいことを考え、そのためにどんな言葉や写真が使われているのかをとらえることで、ポスターの秘密を探る。第2次では、社会科での町探検や、総合的な学習の時間に行った体験をもとに「松茂のすてき」を伝えるポスターに掲載する記事を書く。第3次では、作成した記事に合うキャッチコピーを考える。記事とキャッチコピーを往還する中で、自分の思いにぴったり合うものになるよう交流して互いに学び合う場を設定する。第4次では、これまでに学んだことをもとに、自身でポスターを見直し完成させると共に、できた作品を交流し、学習を振り返る。

3 単元の目標

(1) 子供の活動目標

自分の心がときめき、見る人のハートをキャッチするポスターを作って、「松茂のすてき」を伝えよう。

(2) 指導目標

- 比較や分類の仕方を理解し使うことができるようにする。 【知識及び技能】(2)イ
- 「書くこと」において、複数の表現を比較検討して伝えたいことが明確になっているかを確認、文や文章を整えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】B(1)エ
- 「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、言葉や文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の言葉や文章のよいところを見付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】B(1)オ
- 言葉がもつよさを感じるとともに、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比較や分類の仕方を理解し使っている。(2)イ	① 「書くこと」において、複数の表現を比較検討して伝えたいことが明確になっているかを確認したり、文や文章を整えたりしている。B(1)エ ② 「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、言葉や文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の言葉や文章のよいところを見つけている。B(1)オ	① 積極的に書き表し方を工夫し、学習課題に沿って、経験したことや調べてわかったことなどを粘り強く書こうとしている。

5 指導と評価の計画 (全9時間 国6時間 総3時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価方法
1	<p>【第1次】</p> <p>○「松茂のすてき」を伝える「ときめきポスター」を作成するために、ポスターの秘密や魅力を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ポスターのれい」から、ポスターの工夫や意図について考える。 ・2つのポスターの伝えたいことを見つける。 <p>【K1教科書、K1-1 言葉のたからばこ(掲示物)】</p> <p>・制作日記にポスターの工夫や意図についての気付きを書く。</p> <p>【ときめきポスター せいさく日記】</p>	<p>◇自分がときめいた「松茂のすてき」をポスターにして『マツシゲート学園祭』で発信することを伝え、活動への意欲を高める。</p> <p>◇2枚のポスターを比べ、「どちらにもあること」、「どちらかだけにあること」、「示され方がちがうところ」の3点を表にして整理させることにより、それぞれのよさに気付かせる。</p> <p>◇どちらのポスターが好きか理由を考えることで、知らせたい相手や目的によってちがいがあることに気付かせる。</p> <p>◇制作日記に本時の気付きを書くことで、学んだことを明確にさせ、次時への意欲をもたせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>[知・技①] ワークシート の確認 制作日記の確認</p> </div>
2 3	<p>【第2次】(国2時間 総2時間)</p> <p>○社会科の町探検や総合的な学習の時間に行った体験、調べてわかったことなどをもとに、ポスターに掲載する写真を選び記事を書く。</p> <p>【SO2-1,2WS ときめきポスターをつくろう(下書き)】</p>	<p>◇文章を書き進めやすいようにするために、例文等を掲載した学習の手引き①を用意する。</p> <p>◇総2時間は、下書きをもとにMetaMojiを使い作成する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>[思・判・表①] 記事の下書き の確認</p> </div>

4 ・ 5	<p>【第3次】</p> <p>○写真や書いた記事を見ながら、自分のときめきが伝わるキャッチコピーを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチコピーをいくつか考え、その中から気に入ったものを3つ選ぶ。 ・次時に交流するグループの友達の記事を読む。 <p>【K1-3 授業関連ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで交流することで、キャッチコピーをさらに納得のいくものに「しんか」(進化・深化)させる。(本時 5/6) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇キャッチコピーの作り方を掲載した学習の手引き②を用意する。 ◇次時の交流で感想や意見を話しやすいように、事前に友達の記事を読ませておく。 ◇自分のときめきにぴったり合う言葉になるよう、写真資料や言葉のたからばこ等を手掛かりに考えさせる。 ◇「しんか」のこつを示した手引き③を用意する。(板書) ◇意見交換で使うとよい言葉が掲載された手引き④を手元に置かせる。 ◇表現を比較検討する中で、自分の書きたいことが明確になることに気付かせる。 	<p>〔思・判・表②〕</p> <p><u>発言・話し合いの様子・キャッチコピーの確認</u></p> <p>〔主①〕</p> <p><u>観察・ホワイトボード・制作日記の確認</u></p>
6	<p>【第4次】(国1時間 総1時間)</p> <p>○ときめきが伝わるよう、ポスターを見直し、完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できたポスターを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇記事とキャッチコピーが合っているか、自分の伝えたいことにぴったり合う言葉になっているか、さらに追加したい写真や記事はないかについて見直しをさせ、ポスターを完成させる。 	<p>〔思・判・表①〕</p> <p><u>作品の確認</u></p>

6 本時

(1) 目標

①子供の活動目標

キャッチコピーを「しんか」させて、自分のときめきを伝えるポスターにしよう。

②指導目標

互いのキャッチコピーについて感想や意見を伝え合い、自分の思いにぴったり合う表現になるよう工夫できるようにする。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	具体の評価規準	評価方法
5分	1 前時の学習を想起し、本時のめあてや活動の流れを確認する。	1 キャッチコピーを「しんか」させるための活動の流れを示し、意欲を高める。		

		キャッチコピーを「しんか」させよ。		
25分	2 前時に選んだ一人3つのキャッチコピーについて、グループで交流する。	2 キャッチコピーの文言について、いろんな観点から意見交換ができるようにする。 ・話し合いのモデルを示し、「しんか」のさせ方に気付かせる。 ・話し合いで使える言葉を示す。 ・意見交換で使うとよい言葉を手引きにして手元に置かせる。(手引き③) ・ポスターの下書きや写真資料、社会科で作成した地図を手掛かりにしながら、自由に話し合いができるような隊形にさせる。	言葉についての感想や意見を伝え合い、自分のキャッチコピーのよさを見つけている。	話し合いの観察
10分	3 グループで交流したことをもとに、ポスターに書くキャッチコピーを決め、発表する。	3 友達の感想や意見を生かしてキャッチコピーを決めることができるように助言する。 ・迷っている子供には、後で変えてもよいことを伝え、現時点での考えをもつことができるようにする。	友達の作品や意見を生かして、積極的にキャッチコピーを工夫したり、よりよい言葉を求めて粘り強く考えたりしている。	
5分	4 制作日記を書き、学習の振り返りをする。	4 本時の学習を振り返る中で、言葉を吟味するよさや達成感を味わわせる。 ・振り返りがしやすいように、視点を示した制作日記を用意する。 ・学習の感想を発言させ、次時への意欲をもつことができるようにする。		発言 作品 制作日記

(3) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	友達の作品や意見を生かし、言葉を吟味するよさや効果を意識して、よりよい表現になるよう工夫してキャッチコピーを書いている。
「おおむね満足できる」状況にするための手立て	・キャッチコピーを「しんか」させるモデルを示したり、使うとよい言葉が示された手引きを用意したりする。 ・机間指導の際、いくつかの言葉を示したり選ばせたりする中で、自分の伝えたいことに気付くことができるようにする。